

### 36 (テーマ設定部門) テーマ:『“住民の底力”による地域の防犯力の再生』

事業名 さくらえ自警ネットワーク構築事業

実施主体 NPO法人 結まーるプラス

県担当課 警察本部生活安全企画課

#### 事業の成果

##### 事業の目的 [地域安全]

- 高齢者や子ども達を犯罪から守り、地域の連携、「チーム化」を進める。

##### 事業の内容

- 民生委員、地域安全推進員、自治会等、地域の多様な組織へ呼びかけ、自警ネットワークを構築し、89名の住民による「自警ネット・チームさくらえ」が発足した。
- チームさくらえのロゴマーク入りユニフォームを着用し、パトロールメンバーによる防犯パトロール活動を行った。
- パトロールで得た不審者の目撃情報等を、電話や携帯メールで共有し、公にできる内容のものは、「自警ネット・チームさくらえ」のホームページへの掲載を行った。

##### ロゴマーク



##### 目的の達成状況 [十分達成できた]

- 目的とした100人以上の自警ネットワークができ、半数以上が20～40代と若手を取り込めた。メーリングリストメンバーも50人を越えた。
- チーム化は、地域の安全に対する連帯感の醸成に大きな効果があった。
- これまで知らなかった人同士が、自警ネットのシンボルとして開発したマーク入りのユニフォームをとおして、また携帯メールをとおして、「自分たちの地域は自分たちで守ろう!」という同じ思いで立ち上がり、繋がりはじめた。
- 地域の安全に対する関心が高まり、保護者の方からの要望で、「高齢者」だけでなく、「子どもたち」も守ることも行動範囲とすることになった。

##### 反省点・改善点 [特にない]

協働の効果

**県との協働内容** [ 協働して実施した ]

- 防犯情報の提供を受けた。
- この事業をとおして、地元警察署からの情報(桜江以外の情報を含む)受入れの流れが出来た。

**県との協働効果** [ 十分効果があった ]

- 県と協働することにより、多様な組織がより良い形で連携し、幅広く構成員の参加を得ることができた。
- 地域を守る体制づくりを進めるには、地元警察署とタイアップする必要がある。

**県への要望事項** [ 特にない ]

**反省点・改善点** [ 特にない ]

**市町村との協働** [ 協働しなかった ]

事業の継続

**事業成果の活用** [ 活用されている ]

- メーリングリストの安心安全情報が効果を奏し、消費者被害の未然防止に繋がっている。
- 安心安全に対する地域住民の関心が高まり、自分達の地域は自分達で守るという気運が醸成された。
- 小学校の父兄からの要望で、不審者目撃情報等の地域の安全のための情報については、先生にも知ってもらう必要があるということになり、メーリングリストメンバーに先生を加えることになった。
- 地域をチーム化することで、地域活動に対する関心が薄い若者や中年層の「心の都市化」を食い止め、地域で暮らす人が互いに助け合い、連携しあう関係づくりを行っていきたい。

**事業の継続状況** [ 助成を受けずに継続実施している ]

- 毎日の地域パトロール
- 携帯ネットメンバーによる携帯電話での情報交換
- ホームページでの情報発信

**協働による発展** [ 協働により発展できる ]

- 日本の過疎地を代表する島根県発の「過疎地版ガーディアンエンジェルス」として、全国の同様の課題を抱える地域に、モデルケースとして、波及させたい。
- 防災無線(江津市全戸設置)での注意喚起等の情報提供に取り組みたい。

